

技の守り人 匠会通信

越後与板打刃物匠会

No.11 1月号

明けまして おめでとうございます



2013年がスタートしました。匠会にとっては、2月にアオーレで開催される「越後長岡匠展」に向かって猛ダッシュというところでしょうか。ことしも匠会のミッションで

ある「打刃物の与板をPR」に励み、協力して一歩ずつ着実に前進して行きましょう。

12月上野恩賜公園、「鍛冶体験」に感嘆の声

雪の降りしきる長岡から、晴れわたる青空の下の上野公園へ。「えちご長岡・佐渡広域観光フェア」に、与板からは拓本の会と打刃物匠会が実演で参加。



寒さが心配された「白装束」姿も、東京でのパフォーマンスには大変効果的で好評でした。ホドに火が燃えて白装束の会員たちが鉄を叩きはじめると、みるみるうちに黒山の人だかりができ、「ほぉ〜」「へえ〜スゴいなァ」とカメラのシャッターを切る人たちが。「懐かしい」と足を止めて子どもの頃の思い出を語る高齢の方もあり、鍛冶の工程を初めて見た世代もあったようです。



興味しんしん鍛冶の過程を覗き込む。

小学生も真剣に鎚を使う。励まして見守る中野親方。



2月イベントに向けてもうひと踏ん張り！

今年度の総仕上げとなる「2大イベント」が、いよいよ2月にやってきます。

2月9日(土)・10日(日)

アオーレで匠に会おーれ！と題して、市内のものづくりと伝統工芸を集め、製造関係業種から成る匠展実行委員会が主催します。

与板打刃物を用いての氷の彫刻ショーや、さまざまな実演体験コーナー、クイズなどアオーレいっぱい長岡市の誇る「ものづくりの技と楽しさ」が発信される予定です。

長岡は日本でも有数のものづくり産業の集積地。県外の人たちからの評価も高まっていると聞きます。寒さの厳しい時期の開催ですが、皆さんがんばりましょう！